**地域密着型サービス　運営推進会議　報告書**

**施設名：グループホーム出東ララ**

**施設種類：認知症対応型共同生活介護**

**日時：令和６年４月１２日（金）　14：30～16：00**

**会場：グループホーム出東ララ**

**出席者**

|  |  |
| --- | --- |
| **出雲市役所　職員** | **１名** |
| **高齢者あんしん支援センター　職員** | **１名** |
| **地域住民代表** | **３名** |
| **法人理事長、事務長、施設長** | **３名** |

**【出席者からの意見、感想】**

**市役所様：**

**色々な報告があり、現状が理解できた。食事、栄養、口腔ケア等をきちんと行う**

**ことで体力を維持し転倒等を予防する事にもつながりますので継続して頂きた**

**いと思います。**

**また、事故報告についてですがグループホームはどうしても動かれる方が多い**

**という事もあり転倒も多いと思います。センサーマットも使用しておられる様な**

**ので上手に利用し重度化防止に努めて頂きたいと思います。**

**あんしん支援センター様**

**コロナウイルスの感染があったという事で皆様の生活を守られ大変だったと思**

**います。ララ便りを見て季節を感じる行事等があり、皆様が季節を感じられたと**

**思います。**

**第三者委員様**

**・転倒について何か工夫をしておられますか？**

**⇒センサーマットを使用し離床時にはすぐに対応するようにしています。あとは**

**ベットの下に緩衝用に畳を敷いたり、マットを敷く等の対応も個々に応じて対**

**応しています。**

**・徘徊はありますか？**

**⇒何か目的があり（家に帰らんといけない等）外へ出ようとされたり、ホール内を**

**探したりされる方はいらっしゃいます。職員がその都度対応し、落ち着かれています。あとは、夜が眠れないためにホールへ出てこられる方もいらっしゃいますが、お茶を飲んで頂いたり、職員と過ごすことで落ち着かれています。**

**運営推進委員様**

**・人材は足りていますか？**

**⇒何とかまわっています。コロナ感染対応時には、東西の棟の行き来をストップしたために職員の勤務体制も東西固定しましたので、長時間勤務になる事もありましたが、何とかなりました。**

**コロナ感染者が出た時には初動が大切だという事を痛感しました。第一陽性者が出たら、すぐに対応していかねばならないと感じた。前回の感染時は両棟が感染しましたが、今回は東棟だけの感染で終息しました。**

**⇒BCPも完成しましたのでそれを基に早く終息し元の生活に戻れるように努めていきたいと思います。**

**運営推進委員**

**・防災についてですが、昔と違いだんだんと地域との関係が希薄になってきていると感じています。何か起きた時には個人との関係よりも企業同士の連携も大切になっていると思います。**

**・私は、自治会の会長も現在していますので、夜間の火災の想定等行い、協力していこうと自治会で声を掛けていこうと思います。地域として協力を考えています。**

**⇒ありがとうございます。よろしくお願いします。また、ただ助けて頂いたり、協力して頂く一方だけでなく地域の独居の方などに対しては災害時の一時的避難所としても協力したい意向はありますので何かあればまた協力したいです。**

**地域の方の協力といえば、近隣の企業様から災害時の片付けや人的支援についても協定書を取り交わす予定で話を進めている所です。今でも、降雪時の雪かきなどをして頂いており、助かっています。**

**＊出席者の皆様と災害について話し合う**

**運営推進委員**

**・前にお経を毎日あげていると言われていましたが、継続されていますか？**

**⇒はい、継続しています。午前と午後の２回レクリエーションが始まる前に皆さんと声をそろえてお経をあげています。両棟とも行っています。**

**市役所様**

**それはとてもいいことですね。口腔体操にもなりますし、声に出すことは良いことだと思いますので是非続けてください。**

**第三者委員様**

**・待機について２０名くらいおられますが、どうでしょうか。**

**市役所**

**・待機者は多いようですが、待ちの期間は短いようです。ニーズ調査によってもGHは充足している、増設は考えていない方向です。**